

地域で若者が活躍するために ～大学生の地域参画サポートのあり方～

ボランティア団体 くらうど 代表 計良真生

自己紹介

【氏名】計良真生(けらまさき)

【職業】保育士1年目

【活動遍歴】

岩手県の子どもたちと関わる学生団体に所属(大学4年間)

ボランティア団体くらうと 設立(大学院1年生)

大学近くの自治会の運営サポーター

越谷市観光協会まちづくり未来塾 塾生

越谷アルファーズ サポートボランティアスタッフ

Lake & Peace実行委員会 事務局

越谷市学生議会 議長

越谷市生涯学習審議会 公募委員(面接中)

文教大学大学院を卒業しました。

中高社会の教員免許を持っています。



活動をはじめて地域の学生ボランティア
たとえば、「けらくん」と言っていた
けるようになりました！

ボランティア団体くらうど とは

これまで支援が必要とされていなかった「ふつう」の子ども・若者を地域で支えていくのがボランティア団体くらうどです。

誰もが自身の「ふつう」を見つめ直し、他者の「ふつう」を認め、これまでの価値観にスキマを作る。

地域での様々な活動や大人との関わり、大学生同士の関わりの中で多様な生き方に触れる体験や経験を届けています。



2021年9月 始動

主な活動実績

- ・ **市民まつり** の会場統括を担当
- ・ NHKさいたま放送局(**NHKラジオ**に出演)
- ・ こしがやFM(**越谷市のラジオ**)に5度出演
- ・ **J:com**に3回出演

→ **ゴルゴ松本さん**に会って来ました。

- ・ **YouTube**チャンネル4回出演
- ・ 現在、こしがやFMの**ラジオパーソナリティ**も担当

くらうど 遍歴

主催事業 **98**回 地域の参加者のべ **約1300人** 参加
協力事業 **79**回 参加大学生 のべ **1096人** 参加(2023年4月現在)

- ・ 協賛企業 → 2社
- ・ 後援・支援企業 → 3社 (お弁当の支援)
- ・ プロバスケットチーム**越谷アルファーズ**とパートナーシップを結ぶ

主なイベント情報



神社であそぼ！

毎月第1・3金曜日
17:00~20:30
香取神社 社務所
埼玉県越谷市大沢3-13-38

神社であそぼ！

カードゲームや学習支援を通して地域に子どもから大学生の居場所づくりをしている企画です

大学生と 小さな畑プロジェクト



毎月第3日曜日
10:00~
みずべのアトリエ
埼玉県越谷市南荻島2415-80

越谷しらこぼと基金助成事業



大学生と小さな畑プロジェクト

住宅街で農業ができる！？
農業を通して地域のコミュニティを
大学生と共に盛り上げる企画です



くらうど 図書館

OPEN

毎月第3金曜日
10:00~
14:00
香取神社にいます！

絵本を1か月レンタルできます！
100円で3冊まで借りれます！
読まなくなった絵本の寄贈を
ご協力お願いします。

本企画は、神社deままマルシェに
参加しています！

住所 埼玉県越谷市大沢3-13-38

くらうど図書館

100円で3冊、絵本を1か月レンタル
できる、絵本をたくさん読んで欲しい
という思いからできた企画です。

くらうどを具体的にまとめると

- **大学生と地域の総合窓口としての存在**
- 大学生の居場所として機能しており、大学生との信頼関係が築けているので、大学生が地域に参画しやすい状態に仕上がってます
- 大学生側のニーズと地域団体とのニーズのすり合わせをしたうえで、大学生にボランティア情報を発信
- 子ども向けのワークショップや縁日の企画、運営の経験多数あり
- 学生団体の立ち上げからイベント当日まで、**ボランティアコーディネーター**をくらうどがお手伝いできます

くらうどが描く大学生を支える地域モデル

大学生

大学生と地域との架け橋

- ニーズの調整
- 適切なマッチング
- 大学生の地域参画
- 大学生が子どもと関わる
- 地域循環のモデルづくり

地域団体

子どもたちと関わる体験
いろんな人の話を聞きたい
成長や学びの場

くらうど

イベントを盛り上げてほしい
人手が足りない
子どもたちと遊んで欲しい
若い人と繋がりたい

• けらまさきがどのようにしてくらうどを立ち上げたか？

→子ども時代のけら

→学生団体でのリーダー経験

→地域の大人の言葉

• くらうどが地域に広がった方法

→これまでのボランティアの繋がりの恩恵(人とのご縁)

→まずは自身が動く、活動していく中でのルール

→大学生需要の高さに焦点を当てた

• なぜ大学のサークルじゃないのか

→コロナ渦の大学生

• 大学生サークルをどのように運営するのか

→大学生の経験とプライベートとボランティアのバランス





大学生をはじめとした若者がもっと地域に出てくれたら、、、

- イベントがもっと盛り上がる
- 子どもたちを対象としたイベントが実施しやすい
- イベントにおける託児や子ども見守りの仕組みが作れる
- 若者のアイデアを地域に活かしたい

など

**地域社会や地域のイベントでどのような
メリットがありますか??**

じゃあ、どのようにして

**大学生と繋がり、地域に参画してもらえば
いいのか??**

3つのポイント

- ① 個人ではなく代表との関わりを
深める
- ② 活動目的・ニーズを聞く、知る
- ③ 大学生のボランティア団体を
応援する

個人ではなく代表との関わりを深める

- ・ **大学生個人ではなく、大学生のボランティア団体との繋がりが継続的な関わりポイント**

→大学生には、どんなに長くても4年間という時間の制約がある。

→代表1人に声掛けするだけで、大学生が集まるという団体の特性を活かす

- ・ **ボランティア団体の代表とその後輩との関わりを深める**

→団体の引継ぎは、大学生にとっては初めての経験であり、引継ぎが上手いいかないことが多い

→代表だけではなく、その後輩など団体の多世代との繋がりを創出することが大事

活動目的・ニーズを聞く、知る

- **大学生側が何を目的として活動している団体なのかを知る**
 - ボランティアとして関わる対象をどことしているのか
 - 普段はどんな活動をしているのか

- **大学生側が何に期待して、何を必要として活動しているのかを知る**
 - 地域団体と関わる中で、どんなことを期待しているのか
 - どんな経験や体験を求めて活動している学生団体なのか
ボランティア活動ってどんなことするイメージ？

ボランティア活動でどんなことが出来たら嬉しい？

大学生のボランティア団体を支える

- **地域団体が次の地域団体に大学生を紹介する**

→ 様々な地域イベントに参加できるボランティア団体の方が、大学生にとっても魅力的で、新しく入ってくる子が多い。つまり、団体が長く続くから、継続的な関わりができる。

- **最低限の補填**

→ ボランティアに来た大学生が自費を出さないでボランティア活動を出来るようにしてほしい。

具体的な配慮、関わるうえで大切なこと

- **大学生との信頼感や居場所感の創出**
 - 居心地のよい雰囲気には大学生はもう一度行きたいと感じる
 - 何回も会ったり一緒に活動することが1番の近道
- **双方が損をしないためのすり合わせ**
 - 大学生への最低限の補填
 - 何を任せることが、双方にメリットがあるのか
- **地域との繋がりを持つ窓口を学生主体（責任は大人）で運営**
 - 結局、大学生のことは大学生が1番よく知っている
- **大学生が楽しいと思える内容、得られるものを提供する**
 - 別にそれがボランティアじゃなくてもよい

学生ボランティア団体の概要

団体の目的	
普段の活動	
対象年齢	
大学生の稼働人数	
当日について	<p>当日のイベント中において、困ったときに誰に聞けばいいのかご記入ください。</p> <p>【名前】</p> <p>【連絡先】</p>
学生支援の要望	<p>大学生ボランティアが継続的に活動していくために、当日の活動において金銭面で赤字にならないように以下のご支援をお願いいたします。</p>
連絡手段	

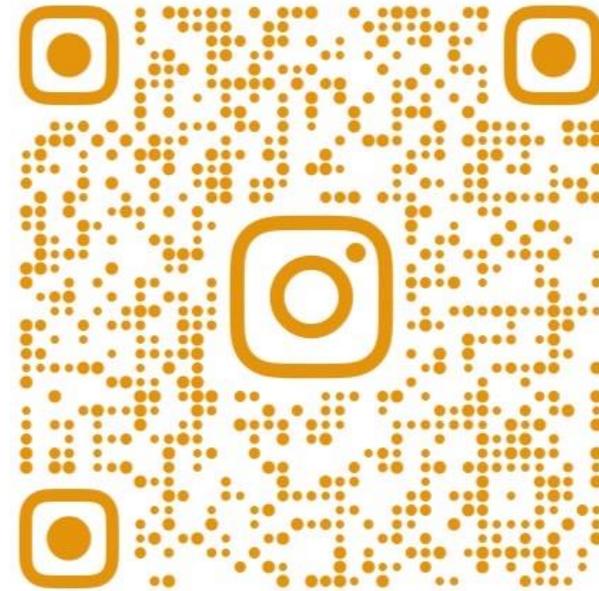
ボランティア依頼 記入シート

イベント名		
開催目的		
大学生ボランティアの当日の動き	<p>《大学生ボランティアの当日の動き》(記入項目↓)</p> <p>○ボランティアの必要人数</p> <p>○集合時間</p> <p>○イベントの開催時間</p> <p>○終了予定時間</p>	<p>《当日お願いしたい内容》(記入項目↓)</p> <p>○当日行うことの概要</p> <p>○活動における留意点・注意事項</p>
当日お願いしたい内容		
交通費・昼食・謝礼の可否		
次回イベントのお知らせ		
要望	<p>→どのような姿勢や考え方でボランティアに取り組んでほしいか</p> <p>→参加者(子どもを含む)と関わる上での注意事項</p> <p>→その他</p>	

さいごに

少子化が進み、自分の子どもへの期待が高まる昨今の子育て事情がある中で、地域の「無責任な大人」の存在がこれからを支える存在だと思っています。

家庭でも学校でもない地域で支えるためにも、子ども・若者が地域に参画していくモデルをまずは越谷市から広め、地域で子ども・若者が活躍できる地域社会を皆さんと作っていかれたらと思っています。



CLOUD_CONNECT

ご清聴ありがとうございました